

議会だより かどがわ

NO.137

1

門川町議会広報

January.2014



補正予算	P 2
委員会報告	P 4・P13
一般質問 9人が登壇	P 5

高速バス停留所整備・大池小切畑線林道整備など

歳入歳出とも 4億6817万4千円を追加 歳入歳出総額 70億9197万5千円

平成25年第4回定例会は、12月3日から12月9日までの7日間、開きました。今定例会議会において、承認1件、規約変更1件、条例改正1件、指定管理者指定1件、財産取得1件、補正予算4件が審議され原案通り可決しました。一般質問は4日、5日に9人が登壇し、町政について論戦を行いました。

主な歳入 (万円未満を省略しています)

地方交付税	3億7554万円	追加
国庫支出金	2931万円	追加
県支出金	5727万円	追加

主な歳出

高速バス運行に伴う停留所整備	1010万円
観光資源PR事業(町イチ!村イチ!)	63万円
町長選挙費	271万円
障がい者福祉サービス事業	3511万円
私立保育園運営費等事業	4510万円
大池小切畑線林道整備事業	1100万円
森林整備地域活動支援交付金事業	1215万円
常備消防費負担金事業	2797万円
林道大原線災害復旧費	345万円
公共施設等整備基金積立金	1億円
予備費	7886万円



高速バス停留所予定地(東九州自動車道)



大池小切畑線

特別会計補正予算

介護保険事業特別会計

歳入歳出とも193万4千円を追加
歳入歳出総額16億2517万3千円

水道事業会計

営業費用	480万円	増額
予備費	480万円	減額

国民健康保険事業特別会計

歳入では変更はなく、歳出について保険給付費に1287万3千円を追加し、予備費から同額を減額する予算の組み替え。既定の予算の総額に変更はなく、歳入歳出予算の総額をそれぞれ28億676万9千円とするもの。

専決処分

平成25年度一般会計補正予算
門川南スマートインターチェンジ(仮称)建設に伴い、西日本高速道路(株)との契約期間が平成26年11月30日となるため、事業費2千万円を26年度に繰越とするもの。
(承認・全員賛成)

規約変更

日向東臼杵南部広域連合の名称変更及び議員定数減
名称のうち「南部」を削除し、名称を「日向東臼杵広域連合」とするもの。また、合併後一定期間経過したことから、美郷町選出議員の定数を3から2とし、全体の議員定数を現在の18人から17人とするもの。
(可決・全員賛成)

条例の一部改正

分担金等の延滞金利率の改正
内容は、町税条例が地方税法の一部改正等に基づいて、延滞金の利率を見直しており、同様に分担金等の延滞金利率も改正するもの。
(可決・全員賛成)

指定管理者の指定

総合文化会館など5施設の現在の指定管理期間が、平成25年度末で満了となるため、次期5年間の指定管理者の指定を行うもので、各施設とも公募を行い、申請のあった団体について、選定委員会で審査し、左表の選定結果の答申を受け、議会の議決を求めるもの。
(可決・全員賛成)

次期5年間(平成26年度~)の公の施設の指定管理者

施設の名称	団体の名称
門川町総合文化会館	門川ふるさと文化財団
門川勤労者総合福祉センター	門川ふるさと文化財団
門川海浜総合公園	門川ふるさと文化財団
門川勤労者体育センター	門川ふるさと文化財団
門川町総合福祉センター	門川町社会福祉協議会

財産の取得

小型動力消防ポンプ5台
消防積載車に搭載する小型ポンプ5台(積み替え)の取得(指名競争入札)。
積み替えを行う部は1部、4部、7部、9部、11部。
(可決・賛成多数 12:1)



小型動力消防ポンプ



消防小型動力ポンプ積載車

質疑

問 使用頻度にもよると思うが、耐用年数は10年と短いものか。
答 ポンプの状態によるなら、それなりの理由を示すべきで、民間では考えられない。
問 定期的に使う場合、ポンプ車は20年程度としている。使用頻度が少ない場合は、傷みは激しく、短くなる。実際の火事に使えないと困る。
問 点検は、どのように行なわれているのか。
答 各部にまかせている。今後、メーカーがつくった取扱説明書やマニュアルに沿って整備し、長持ちできるように指導を行なっていく。

反対討論

他の自治体の状況では、15年以上、20年程度で更新しているのが現状。消防協会では、15年としている。機能的に満足できるものを更新することには反対。

賛成討論

町民の生命と財産を守る重要な消防活動であり、いざというときに活動に支障がないように備えるべきである。

門川衛生センター

10月7日、門川衛生センターの機械設備および運転状況について視察調査を行った。

内容

平成24年度は、施設の機械設備の再点検を行い、大きな修理等を実施した。オゾン発生器、真空ポンプなどの機械設備関係を中心に調査した。

なお、設備の修理、維持管理などのメンテナンスについては、極力地元業者に発注している。

今年度は、汚泥の搬入が多くなり、1日平均40キロリットルが搬入されている。汚泥の処理量が増加したことにより、電気量、薬品投入量が増え、必要経費も増加した。これまでは、生し尿

と浄化槽汚泥の比率は、生し尿が20%、浄化槽汚泥が80%であったが、今年の上半期は、生し尿が15%、浄化槽汚泥が85%の割合になっている。

このことは、議会で浄化槽の年1回の法定検査について取り上げたことにより、清掃する家庭が増えたものだと思います。

衛生センターの建物については、耐震性は十分あるが、津波に対しては、無防備状態である。

まとめ

門川衛生センターは、し尿処理施設として、昭和56年に建設された。今日に至るまで本町の汚水処理を一手に引き受け、事業を行ってきた。今後も現在の



視察状況（衛生センター）

状況を維持し、門川町の環境向上をめざして取り組んで欲しい。

商工会との懇談会

10月23日、門川町商工会理事と産業建設常任委員会委員との懇談会を行った。

各理事からの主な質問、および委員会からの回答は下記の通りである。

環境問題

衛生ごみを延岡市や日向市など町外の人が門川町の清掃工場に持ち込んでいることを聞くが、対応は。

窓搬入許可証の提示が無い時は搬入を拒否しており、状況は改善されたと認識している。

道の駅建設

スマートインターチェンジ設置に伴う「道の駅」建設について、議会等で話題になったり、協議したことはあるのか。
窓議会では協議していない。今後、商工会と連携してスマートインターをどう生かすのか、町づくりについて行政に働きかけていくことが必要である。

防犯カメラ補助金

商店街安心安全防犯カメラ設置事業に、町の補助金の増額を願いたい。
窓委員会として、町にはたらきかけていく。

国道388号早期着工

国道388号の改良整備事業の状況はどうなっているのか。
窓国道388号（門川町・美郷町間）整備促進期成同盟会で決議し、県の方へ要望書を提出している。

今後の要望事項

- ① 買い物弱者の買い物支援をして欲しい
- ② 遠見半島、乙島を一体化した観光資源の開発
- ③ 乙島キャンプ場のログハウス建て替え（老朽化）
- ④ 門川元気振興券は次年度以降も継続して欲しい。
- ⑤ 「ヤッチャルバイ門川」の支援を継続して欲しい。
- ⑥ 議会のテレビ中継は出来ないか。



商工会との懇談会（アピオ）

一般質問 9人が登壇！

町政を問う！



コミュニティラジオ局を開局する考えは
安田 厚生

町長 専門的な技術面に課題があり困難

町独自に開設し運営していくには、専門的な技術面において課題があり困難である。

町長 「FMひゅうが」を活用した地域情報発信など具体的な方法は現在協議中。運営については可能な限り協力していく。

町長 町独自に開設し運営していくには、専門的な技術面において課題があり困難である。



津々良お滝さん

町長 近日中に打ち合わせがあるので、そのようなかで今後、協議していく。

観光地の整備は

町長 観光地を整備は、津々良お滝さんへの遊歩道の整備、小園井堰に遊泳場の整備は。

町長 遊歩道の整備には、多額の費用を要するため現時点では困難。遊泳場は河川の形状

している。

町長 パンフレット等でPRに努めているが、今後はさらに輪をかけて頑張る。

町長 観光協会を通じて、本町の秘めた観光地を案内する観光ツアーや観光情報を発信する考えは。

町長 本町の魅力を発見する観光ツアーについては、広域の協議会や観光協会と連携し、支援していく。また、観光協会でフェイスブックを活用し、情報を発信



遊泳場の整備が望まれる小園井堰



企業誘致をどう展開するのか

神崎千香子

町長 マスタープラン策定の中で検討中

町長 閩東九州道全面開通が目前だ。スピードが必ずや。昨年農工商連携でレタス工場が新設されている。雇用も生まれ6次産業に発展する可能性がある。町の関与と

建設課長

住民アンケート等これからで、来年まで2カ年の予定をしている。

閩工業団地の検討はどの段階か。

町長 既存の誘致企業にたいして企業訪問などを行っている。また策定中の都市計画マスタープランの中で工業団地の検討も含んだ町づくりの計画を行っている。昨今の経済情勢のもとでは、新規の企業誘致は困難だ。広域的な連携をしながら、進めていきたい。

閩産業振興、企業誘致をどう展開するのか。

町長 閩企業立地促進条例には該当せず、県の農工商連携ビジネスモデル創出事業の補助金に推薦書を提出した。今後、6次産業化を目指すことになれば協議していく。現在、レタス工場に行く河川の道路舗装について県と協議している。

今後の連携計画は。

町長 閩企業立地促進条例には該当せず、県の農工商連携ビジネスモデル創出事業の補助金に推薦書を提出した。今後、6次産業化を目指すことになれば協議していく。現在、レタス工場に行く河川の道路舗装について県と協議している。



レタス工場(小園地区)

閩企業誘致条例に合致しなかったとのことだが、雇用も40人と聞く。今後増設するにしても土地もある。このような工場は、農業の観点から離れて工場と捉え

閩観光振興について

町長 現在定期的に普及センターとか農協とか行政で協議が行われている。

町長 延岡市・日向市・周辺町村・県など広域的に取り組みが必要。現在庵川・牧山地区農用地利用改善組合が行っているウォーキング大会、農業体験など1次



観光協会事務所(門川駅アピオ内)

町長 閩現在、観光協会の事務は役場職員が行っている。今年度の観光協会の法人化のための事業開発などの予算は当初380万円だったが実際は商工会に300万円委託されておりその殆どが人件費で活動費もない。理由は、

町長 産業から密着した企画も拡大していきたい。観光協会での、かどつぴーやフェイスブックなど新たな取り組みも継続していくようお願いしたい。

閩学校図書館の運営について

町長 観光協会と協議しながら進めていきたい。

教育長 学校では現在、読書推進の機運が高まっているようです。学校図書館の環境の整備と充実などのために引き続き学校図書館支援員の雇用にも努め読書推進を図っていきたい。



減災対策はどうする

森 誠一

町長 26年度に見直す

減災対策の進捗は 閩備蓄倉庫は2箇所であるが、十分だと考えるか。

町長 来年、中央公民館に備蓄倉庫を計画している。

閩防災行政無線のエリア拡大はどうなっているか。また個別受信機の検討は。

町長 現在使用しているMCA行政無線から公的補助のある、デジタル防災無線に方向転換するよう考えている。近いうちに調査が始まる。個別受信機については検討している。

閩沿岸部に避難タワーの設置の考えは。

町長 費用も含め検討したい。

閩被災1ヶ月後の断水率が県内市町村で最も高い61%と想定されているが、対策は。

町長 平成19年に南九州コカコーラと協定を結んでいるが当然足りない。不足分は、公的機関に頼らざるを得ない。

防災士の組織化は

町長 閩本町には、32人の防災士があり、内5人が延岡市、11人が日向入郷の防災士ネットワークに登録し活動している。

半数は、各地区で活動している状況である。来年には、9人が資格取得の見込み。本町も組織化して、防災訓練等に活用する考えはないか。

町長 協議の場を設けたい。

マンネリ化し、参加者が少なくなったとの報告があった。災害に強いまちづくりに、地域防災コミ



宮ヶ原区消火栓訓練

津波避難訓練を中止した理由は

町長 閩避難訓練などソフト対策は、継続的に実施すれば必ず効果を発揮するものであり、確実に積み重ねていくことが重要だと思いが、なぜ取りやめたのか。

町長 マンネリ化し、参加者が少なくなったとの報告があった。災害に強いまちづくりに、地域防災コミ

ユニティの再構築が必要であり、福祉活動や祭り、地区一斉清掃等の活動の中で、共助の心養い、地域防災コミュニティを作っていくことが災害に強いまちづくりにつながっていくものと考えている。地域の防災活動を進展させることを目的に、地区の自主防災活動に置き換えたもの。来年5月に町主催の津波避難訓練を実施する計画である。



消火器訓練

閩防災訓練を実施、また計画している地区はどのくらいあるのか。

総務課長 現段階ではわからない。

町長 丸投げしたわけではない。



戸籍等の不正取得対策に本人通知制度導入は 森川 春夫

町長 検討課題、県内市町村の動向を見る

戸籍などの不正取得による犯罪や人権侵害から住民の個人情報を守るため、本人通知制度を導入する自治体があるが、本町では。

町長

住民票の写しや戸籍証明書等を本人の代理や第三者に交付した時に、その交付した事実を通知する「本人通知制度」があるが、導入は、法務局や県内市町村の動向を見ながらの検討課題としたい。

メンタルヘルス対策

関心の健康づくり計画やメンタル不調者が職場復帰するにあたっての支援計画についての対策は。

町長

各所属所における対応の手引きとして、「職員」の分限指針」の策定を検討している。職場復帰支援は、現在、所属長や人事担当

- 本人通知制度（3種）
- ①事前登録型
事前に登録している者に通知
 - ②被害告知
不正取得判明した場合に告知
 - ③全市民対象
委任した本人に通知

防災対策と計画

関本町地域防災計画の見直しの進捗状況と今後の見直しは。

町長

県の「減災計画」および「地域防災計画」を受け、本町の地域防災計画を26年度に見直すことを考えている。

国道10号に頑丈なガードレールを

水永 正継

町長 国土交通省と協議している



関門川小学校の児童は国道10号を通って正門から登下校している。現在、ガードパイプが設置されているが、強度が足りない。もっと頑丈なものにするよう関係機関に働きかけはできないか。

町長

国道10号は、交通量も多く、正門付近は多くの子どもが歩道を利用することから、強固



現在のガードパイプ

な防護柵の設置について道路管理者である国土交通省に対して協議を行っている。

町長

現在のところ、要望箇所は伺っていないが、今後要望等があれば随時対応していきたい。

門川小学校運動場の整備を
門川小学校の運動場は水はげが悪い。今年度の運動会は、町内の他の小学校は雨の翌日に実施できたのに、門川小学校は、運動場の状態が悪く、翌々日の実施になった。一方、冬の季節は砂埃が発生し、付近の住民は困っている。また、大雨の時は、校内や運動場に降った雨が流れ込み、付近の民家が水害に遭っている。町はその都度応急措置は取ってきたけれど根本的な解決には至っていない。

本格的な整備に取り組む時期にきているのではないか。



門川小学校グラウンド

町長

門川小学校の運動場については、本格的な改修整備の必要があると認識している。今年度9月の補正予算で運動場の排水測量設計の業務委託を予算化し、現在現地調査を行っている。平成26年度に国の補助事業を活用した整備ができるよう設計を進めている。

秘密保護法の町長の見解は

関原発事故や沖縄の米軍基地問題など、日本政府はこれまで国民が知るべき大事なことを隠してきた。このような政府が新たに秘密保護法をつくれれば、日本はどうなるのか。町長の見解を伺いたい。

町長

国民の代表である立法院で審議を尽くされるべき案件であり、その推移を見守っていき

加草中村線の整備について

安藤 福松



町長 早期着工と道の駅を検討する

関東九州自動車道が来春には開通し、さらに門川南スマートインターの整備も認可された。このような中で、南北2つのインターに接するこの深迫地域は「門川道の駅」として最適地である。その為にも加草中村線の整備が必要。町長の考えは。

町長

加草中村線の整備は、国道10号から県道土々呂日向線に直結し、スマートICに最短で到達できる同路線の整備は最重要課題と認識している。

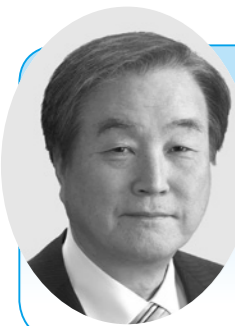


門川南スマートIC (仮称)入口



現在ストップしている加草中村線

先般9月に設立した「宮崎県スマートIC等整備・利用促進協議会」の目的である周辺アクセス道路の整備に合致する路線であり、これを整備することでこのICの効果が十分に発揮され、ひいては高速交通体系に対応した本町の産業振興や地域活性化に効果が発揮されるものと考えられる。また道の駅門川についても必要な課題として、今後あらゆる機会をとらえ相談していきたい。



自治基本条例の制定について

岩佐 祐一

町長 必要性について検討を行って参りたい

町長 見たことがないのでコメント出来ない。いざれにしても自治基本条例の必要性や、住民参加の町づくりに最も有効な手段などにつ

町長 閣他の自治体の自治基本条例についての感想は。

町長 全国で約290の自治体において制定されている。本県においては、えびの市が制定。本町においては日本国憲法や地方自治法などの範囲で町個別の条例を制定し、自治体運営を行っており十分と考えている。

町長 閩町民を町づくりの主体として、町民参加の仕組みや町民の権利や責任などを定め、町づくりの基本原則や行政の基本ルールなどを定める自治基本条例を制定することについて町長の見解は。



役場入口に設置してある休日夜間申請受付ボックス

町長 本町では、開庁時間内に来られない住民への時間外サービスとして、平成5年より玄関前に休日夜間申請受付

町長 窓口サービスの向上 閩住民票や印鑑登録証明等、窓口サービス向上として、週の内1回程度時間を延長してはどうか。また、そのような検討はなされたのか。

町長 これは、申請書に必要事項を記入し証明書類と送料、身分証明書のコピーを同封しボックスに投函しておく、翌開庁日に町民窓口係が郵送することにより証明書が取得できるサービスである。昨年度は5件の利用となつている。また年度末の土日の2日間、町民窓口係と医療年金係、子育て支援係の窓口を開庁している。

町長 現在行っているサービスの周知広報に努め、利用件数を考慮し、また、町民ニーズを把握しながら、平日時間外窓口サービスの導入については、今後の検討課題とする。



町民窓口係

町長 閩今後の対応は。



災害時の指定避難場所は大丈夫か

菊地 稔治

町長 中央公民館は耐震化を計画、他については大丈夫

町長 ①かどがわ温泉心の杜と南ヶ丘公民館は、建築基準法に基づき設計された建物である。町内の小中学校4校は耐震補強が済んだ。門川高校体育館、平城保育所、門川保育園については、耐震診断の結果、改修の必要はない。

町長 ②指定避難所は震度6強に耐えられるのか。③避難所運営ゲーム(ハグ)の活用はどうか。

町長 閩南海トラフ地震が発生した場合、今年2月に県が発表した門川町の津波浸水想定によると、市街地のほとんどが2m以上の浸水深となつている。さらに震度6強、急傾斜地の危険度Aランクと想定された地域は、ほぼ町内全域に渡っている。そこで、次に伺う

町長 ③避難所運営ゲーム等により、運営を疑似体験することも重要と認識しており、今後検討していく。

町長 福祉避難所の協定はなされているのか

町長 閩災害時において、災害時要援護者(高齢者、障害者、妊婦等)に対しては、避難生活を支援するための専門的な知識を持った人材の配

町長 ②県の資料によると沿岸部で液状化の影響が大きいと示されている。液状化は土壌構成上の問題であるため早急な対応策は難しいものがある。

町長 中央公民館は改修により耐震化を計画している。避難場所については、南海トラフ地震に想定される津波高は12mであるので、次年度の町地域防災計画を策定する中で見直していく。



液状化が心配されるクリエイティブセンター

町長 置や、施設等が必要となるため、福祉避難所を本町独自で設けるには難しいものがある。そこで、そのような施設を有する他団体と協定を結び、災害に備える必要があるが、町長の見解は。

町長 現在、門川町社会福祉協議会との協定に向けて、取り組んでいるところである。今後も、

町長 閩近年は異常に暑い夏が続いている。児童・生徒の熱中症予防対策として安価で設置可能なミストシャワーを本町でも取り入れてはどうか。

町長 今のところ学校への設置は考えていないが、最近の異常気象により、以前にも増して熱中症予防対策は重要さを増してきている。現在、各学校が取り組んでいる熱中症予防対策に関して、更なる充実を図っていく。



米良 昭平

イベント支援

町長 現在は集客に腐心

町長 イベント支援については、売り上げ拡大に力を入れるべき。

町長 町としては売り上げ拡大というより、多くの人に足を運んでもらえるよう、現在では集客に腐心している。

稲作病虫害対策

町長 稲作の病虫害対策について、農家への指導内容は。



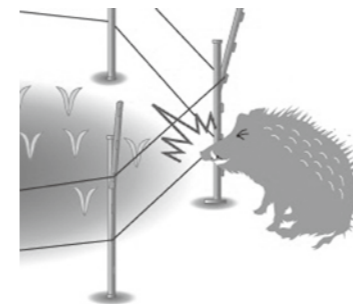
町長

「稲作こよみ」に基づき、適正な作業管理や防除などを指導し、その後、トレーサビリティ制度に基づき「稲作こよみ」の作業記録表の欄に作業内容を記入するよう指導している。

鳥獣被害対策

町長 鳥獣被害対策について、今年度の捕獲数は、また、防護網等の設置は。

町長 4月から随時捕獲を許可し、現時点で把握している捕獲数はイノシシ43頭、シカ14頭、サル4匹。なお、シカとサルを捕獲した場合は町単独で報償金(シカ8千円、サル3万円)を交付している。防護網の設置は25年度、6kmを予定している。



町長 町職員の人数は適正か

町長 門川町職員定数条例によると172名、現在の職員数は145名、住民への行政サービス向上の在り方は。

町長 町長 行財政改革構想は、今年度が最終年度。これまでを総括し、また、今日、自治体に求められている「業務」や「役割」が変化し、公務に従事する職員としての「身分」や「在り方」も多様化していくことから将来、施策、組織、機構の見直しと再編を検討し、職員数についても検討したい。



庁舎

議会広報編集特別委員会 研修会報告書

9月30日から10月1日の2日間にわたり、全国会主催町村議会広報研修会が東京都千代田区の砂防会館別館で行われたので、研修を受けた。

◎2時限

長澤忠徳氏

(武蔵野美術大学教授) 「広報誌面デザインの基礎知識」

①広報媒体の種類と特性

②書体の基礎知識

③構成センスの良いレイアウトのために

④色彩センスの良い見栄えのために

◎3時限

神島美明氏

(写真家) 「デジタル時代の写真術」

①多機能、高画質のカメラを使いこなす

②ワランク上を目指すには

③人を撮るときに心構え

④撮影後の作業

研修を終えて

議会だよりを町民にわかりやすく、読みやすい内容とするため、記事を的確かつ簡潔にまとめ、町民の皆さんに親しんでもらえる紙面づくりに取り組む。

2日目

深沢徹氏

(広報コンサルタント) 「議会広報クリニック」

①ありのままの「議事公開」住民とともに

歩む広報づくり

②わかりやすい記事と見出し

③読みやすい紙面づくりの技術



お知らせ 議会報告会



町民の皆さん！ 自由なご意見、お聞かせください！

門川町議会が取組む初めての「議会報告会」を下記により行います。

議会の活動を報告するとともに、町民の皆様のご意見をお聞きし、今後の議会活動に反映していきます。

お揃いで、ご参加ください。



〈会場〉
クリエイティブセンター(南町)
総合文化会館横

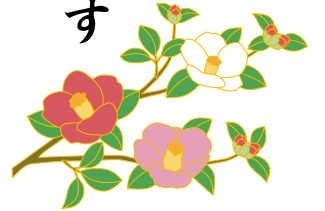
記

日時:平成26年2月23日(日)
時間:午後2時~4時
内容:○ 議会活動報告
平成24年度決算の概要
各委員会活動報告など
○ 意見交換会



豚汁のふるまい（日赤奉仕団）

新年あけまして
おめでと
うござい
ます



初日の出(向が浜)

議会傍聴のご案内
 次回の定例会は3月です。
 皆様の傍聴を心よりお待ちしております。
 お問い合わせ：議会事務局
 TEL 63-1140(内線271)



機械器具点検(消防出初式)

編集後記

今冬は平年より寒さが厳しいよう
 です。第4回定例会が12月9日
 に終わり、年末から年初めにか
 けて編集作業中に大きなニュー
 スがありました。東京都議会は都知
 事を金銭問題で辞任に追い込みま
 した。

本定例会において4億6千万余
 の補正を可決し、総額70億9千万
 となりました。議論の主なもの
 は消防ポンプ5台分の買い替え問
 題でした。

新年を迎え議会だよりも更に写
 真など増やして読みやすいよう
 に努めてまいります。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 朝倉 利文
- 副委員長 森 誠一
- 委員 菊地 稿治
- 委員 森川 春夫

■ 発行者／門川町議会議長 安田茂明
 ■ 編集／議会広報編集特別委員会
 〒889-0696
 宮崎県門川町本町1丁目1番地
 TEL(0982)63-1140

■ 印刷／安井株式会社

